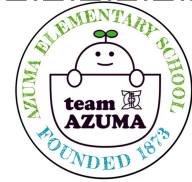


あずま小学校だより

学校通信

第5号 令和7年5月14日

学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 たくましい子



1年生が学校探検を行いました

5月1日(木)の3校時に1年生が学校探検を行いました。校舎内の各教室に入って探検(見学)したり、いる職員に質問したり、メモを取ったりしていました。校長室にも来ました。大きな金庫や歴代校長の写真を見て驚いていました。金庫に何が



図書室の見学の様子。1年生への図書の貸し出しも始まりました。

入っているか聞いてみたところ、「お金」「お宝」と答えてくれました。「重要書類」というとピンとこない様子でした。顔写真は何か知っていますかとの質問には「死んだ人」とのこたえ。失礼かと思ったのですが笑ってしまいました。

登校指導をしていたとき、転んで水筒がお腹に当たって痛がっていた1年児童に、保健室に行くよう話したらどこにあるか分からないと言っていたので、これで、何がどこにあるか知ることができたと思います。



放送室見学の様子。大きなスピーカーやマイクに興味しんしん。

1年生が交通安全教室を行いました

5月13日(火)1年生の交通安全教室がありました。あずま支所庶務課の職員にお世話になり、伊勢崎署員、交通指導員



を講師に、PTAボランティアの皆さんのお手伝いで、交通安全について教えていただきました。

群馬県警の調査によると、2023年、県内で小学生が被害者となった交通事故125件のうち、40%近くが登下校中で、一番多い月は4月の16件でした。さらに、小学生が歩いている時に被害にあった68件の内訳をみると、道路への「飛び出し」が25件、停車中の車や走っている車の前後を横断する「車の直前・直後の横断」が11件でした。このことから、新学期が始まった今、特に道路の横断について適切な方法を学ぶことは重要です。



校外で横断歩道の渡り方を実地練習しました。

交通安全教室では、校庭で道路の安全な歩き方と横断の仕方の講話を聞いた後、北側の道路に出て道路を一行で歩いたり、横断歩道を横断したりしました。こういった行事や普段の注意喚起などを通して交通事故のない学校となるよう努めてまいります。



リモートでの安全指導講話の様子。道路の渡り方などを学びました。

4年生が自転車教室を行いました

5月13日(火)に1年生に引き続き4年生が自転車教室を行いました。校庭に交差点や道路を作って、自転車の点検方法や道路での走行ルール、運転技術等学びました。自転車で道路に乗り出すと事故にあう確率が高まりますので、自転車の運転知識・技術を学ぶことは事故防止に欠かせません。4年生たちは講師の方々の説明をよく聞き、一生懸命に自転車練習をしていました。



交差点や路地、自転車通行可能な歩道等の自転車での走行方法を、実際に自転車を運転して確認しました。

自転車に関するルールでは、罰則が強化される方向性が示されています。近年、自転車による事故は増加傾向にあり、重大な事故や死亡事故のうち7割以上が自転車側の違反が原因とされています。信号無視や一時不停止、右側通行、スピードの出し過ぎ、運転中の携帯電話の使用、ブレーキ故障等禁止されている行為をしないようにし、安全運転を心がけとほしいと思います。また、歩行者にぶつかってけがをさせてしまい加害者になってしまうこともあります。これについても十分注意してほしいと思います。



自転車の点検内容等の講話の様子。ブタハシャベル(ブレーキ・タイヤ・ハンドル・車体・ベル)の点検が大事。

体育集会がはじまりました



全校ラジオ体操の様子。やりなれていないためまだまだ練習が必要です。

5月13日(火)昼行事で今年1回目の体育集会が行われました。学校全体としての取組で、ラジオ体操や運動会、持久走の練習をしたり、なわとび(短縄・長縄)をしたりして、基礎体力の向上を行います。今回は、校庭での整列の仕方の確認とラジオ体操を練習しました。ラジオ体操では体育委員の児童が前に出てお手本となり、全校で動きの確認をしました。夏日で大変暑い中でしたが、多くの子どもたちは元気に取り組んでいました。ただ、新型コロナウイルス感染症による密集回避以後、学校全体で整列する機会が減ったため、並び終わるまでに時間がかかりました。次回はより早く並べるように練習していきます。

スポーツ庁の令和6年度体力・運動能力、運動習慣等調査の結果では、中学生・男子では新型コロナウイルス感染症によるパンデミック前の水準に戻ったものの、小学生・男子および中学生・女子では前年度からほぼ横ばいであり、かつ、小学生・女子は低下していることが発表されています。子どもにとって体力の向上は必要不可欠です。特に小学校低学年以下の子どもは、身体活動を通して、体の動かし方を会得し、脳の発達を促していくなど、体を動かすことと心身の発達が密接に関連しているといわれています。また、病気への抵抗力を高めることなどによる健康の維持のほか、意欲や気力の充実に大きくかかわっており、人間の発達・成長を支える基本的な要素ともいえます。学校では体育の授業や体育的行事等だけでなく、体育集会も定期的の実施し、子どもたちの体力向上を図っていきたいと考えています。